様式３（2010.09改）

作成日　平成２６年１月３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372001418
事業所名	グループホームたけのこ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	秋まつりでは、子供みこしの休憩所として、多くの地域住民が集る。 地域のボランティアや実習生が頻繁にホームを訪問しており、調査当日も複数のボランティアグループが訪れ、「歌の会」や「お茶の会」が開かれていた。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	2ヶ月に1度、運営推進会議の場で、スライドを使ってホームの取り組みを詳細に報告している。 ユニットリーダーが資料を使って現状を詳しく説明し、専門家（医師等）を招いて勉強会を実施したこともある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の担当者の出席はないが、運営推進会議には地域包括支援センター職員の参加があり、ホームの状況は市に届いている。 調査当日は、市・介護相談員の訪問もあった。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月4ページの「たけのこ新聞」が発行されており、「生活記録表」の送付と共に、利用者の日々の暮らしや様子を家族に伝えている。これらを毎月の楽しみとしている家族も多い。 家族の意見を汲み取るために、「家族の要望用紙」を回収し、ホーム運営に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。